

令和7年度

船舶給水栓補修工事

(元町5丁目)

数 量 計 算 書

留萌市地域振興部
港湾・再生可能エネルギー室

工 置 設 栓 水 給 舶 船
表 計 集 量 数

資材費

No. 1

[illegible]

勞力費

上段：当初設計
下段：

No. 1

[illegible]

管路土工

No.2

[illegible]

仮設費

No.3

[illegible]

土留工

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	算 出 基 礎	数 量	単位	備 考
軽量鋼矢板建込み・引抜き	軽量鋼矢板2型 H=2.00m	11.21	= 11.21	11.2	m
軽量鋼矢板建込み・引抜き	軽量鋼矢板2型 H=2.50m		= 0.00	0.0	m
軽量鋼矢板損料重量	軽量鋼矢板2型 H=2.00m	$11.21 \times 2 \div 0.250$	= 90	90 2.7	枚 t
		$\frac{H}{2.00} \times \frac{kg/m}{14.8} \div 1000 \times \frac{枚}{90}$	= 2.66		
軽量鋼矢板損料重量	軽量鋼矢板2型 H=2.50m	$0.00 \times 2 \div 0.250$	= 0	0 0.0	枚 t
		$\frac{H}{2.50} \times \frac{kg/m}{14.8} \div 1000 \times \frac{枚}{0}$	= 0.00		
軽量鋼矢板賃料	2型	$\frac{t}{(2.66 + 0.00)} \times \frac{日}{5}$	= 13.30	13.3	t・日
軽量鋼矢板整備費		2.66 + 0.00	= 2.66	2.7	t

軽量鋼矢板土留工日数計算書(H=2.0m)

	作 業	数 量	単 位	計 算 式	日数1		算 出 基 礎	適 用
A	軽量鋼矢板打込み	11.2	m	÷ 50.0	0.3		2.0人/100mより 50 m/日	R6水道実務必携 P48
	支保工設置	11.2	m	÷ 166.7	0.1		0.6人/100mより 166.7 m/日	R6水道実務必携 P51
	掘削工(0.28BH)	9	m3	÷ 59.0	0.2		59 m3/日	R6水道実務必携 P162
	小 計				0.6			
B	メカニカル継手 Φ75mm以下 離脱防止継手を使用する	8	口	× 0.07	0.6		0.065人/口より 0.065 人/口	R6水道実務必携 P54
	ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工 Φ50mm 加算しない	8	口	× 0.04	0.4		0.04人/口より 0.04 人/口	R6水道実務必携 P86
	ポリエチレン管布設工(継手工) Φ50mm 加算しない	8	口	× 0.04	0.4		0.04人/口より 0.04 人/口	R6水道実務必携 P86
	ポリエチレン管布設工(据付工) Φ50mm 加算しない	2	m	÷ 56.0	0.1		0.18人/10mより 56 m/日	R6水道実務必携 P86
	不凍水栓取付け歩掛(VP用) 50mm 地下式	4	箇所	× 0.16	0.7		0.16人/箇所より 0.16 人/箇所	R6水道実務必携 P193
	小 計				2.2			
C	軽量鋼矢板撤去	11.2	m	÷ 111.1	0.2		0.9人/100mより 111.1 m/日	R6水道実務必携 P48
	支保工撤去	11.2	m	÷ 200	0.1		0.5人/100mより 200 m/日	R6水道実務必携 P51
	埋戻工(0.28BH)	6	m3	÷ 85	0.1		85 m3/日	R6水道実務必携 P164
	小 計				0.4			
	合 計				3.2			

$$\text{仮設材損料日数} \quad 3.2 \times 1.5 \quad = 4.8 \quad \div 5 \text{ 日}$$

工 去 撤 栓 水 給 舶 船
表 計 集 量 数

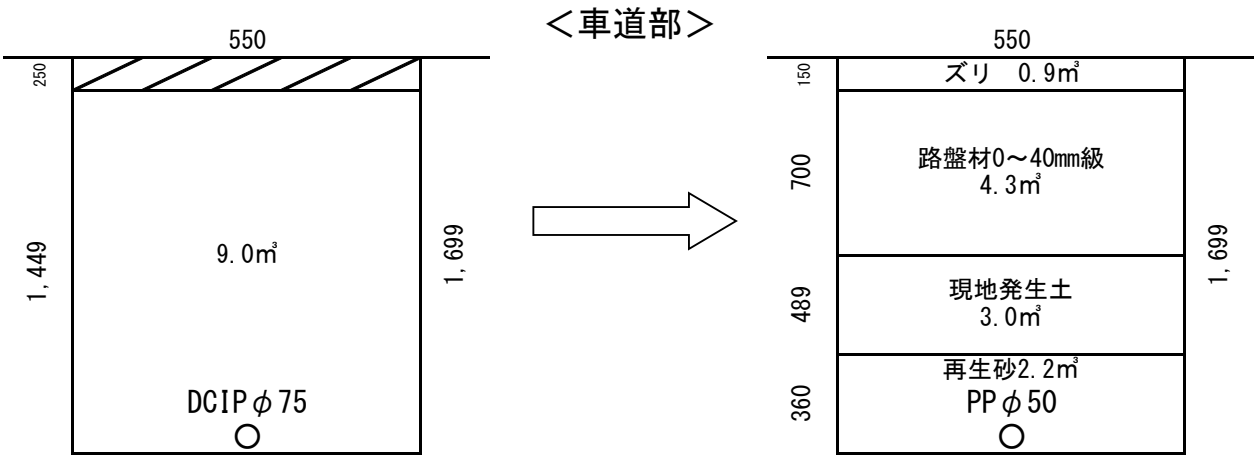
勞力費

上段：当初設計
下段：

[illegible]

掘削断面図算出

I 船舶給水栓設置工PPφ50 L=2.802×4=11.208m



土量計算書

上段：当初設計

下段：

[illegible]

令和7年度

船舶給水栓補修工事

(元町5丁目)

水替・日数算出計算書・工程表

留萌市地域振興部
港湾・再生可能エネルギー室

水替日数算出計算書

水替日数算出計算書

No. 1

[illegible]

日 数 算 出 計 算 書

No. 1

船舶給水栓設置工				
人員配置～工事区間の起終点に1名ずつ計2名を車道部に配置すること。				
工 種	作業単位時間	計 算 式	1 位 止	実 日 数
舗装版破碎	舗装版厚15cm 超え 3.0km 以下 43 m ³ /日	19/43=0.44	0.4	0
ハック杓掘削積込	BH0.28m ³ 59m ³ /日	9/59=0.15	0.2	0
軽量鋼矢板たて込工(両側分)	BH0.28m ³ 50m ³ /日	11.2/50=0.22	0.7	1
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	BH0.28m ³ 111.1m ³ /日	11.2/111.1=0.10		
支保材設置・撤去(軽量金属製)	(100/3.3) m/日	11.2/ (100/3.3) =0.37		
メカニカル継手	φ75 (1/0.065)口/日	8/ (1/0.065) =0.52	2.1	2
ホリドリ管(効力継手)布設工	人力 φ50 (1/0.04)口/日	8/ (1/0.04) =0.32		
ホリドリ管布設工(継手工)	人力 φ50 (1/0.04)口/日	8/ (1/0.04) =0.32		
ホリドリ管布設工(据付工)	人力 φ50 (10/0.18)m/日	6.6/ (10/0.18) =0.12		
不凍水栓取付け歩掛(VP用)	人力 φ50 (1/0.16)口/日	4/ (1/0.16) =0.64		
ポリエチレン管切断工	φ50 (1/0.01)口/日	8/ (1/0.01) =0.08		
ねじ式弁筐設置	人力 下部 (1/0.02)箇所/日	4/(1/0.02)=0.08	0.1	0
管路埋戻工(機械埋戻・ハック杓)	BH0.28m ³ 85m ³ /日	2/85=0.02		
管路埋戻工(機械埋戻・ハック杓)	BH0.28m ³ 85m ³ /日	3/85=0.04		
管路埋戻工(機械埋戻・ハック杓)	BH0.28m ³ 85m ³ /日	0.9/85=0.01	0.7	1
路盤工	1.80m未満 0.45日/100m ² ・5層	19×(0.45/100)*5=0.43		
舗装工(人力施工)	50mm< t ≤70mm 230m ³ /日	19/230=0.08		
舗装工(人力施工)	t≤50 250m ³ /日	19/250=0.08	小計	4
舗装工(人力施工)	t≤50 250m ³ /日	19/250=0.08		
			小計	4

日 数 算 出 計 算 書

No. 2

船舶給水栓撤去工

人員配置～工事区間の起終点に1名ずつ計2名を車道部に配置すること。

[illegible]

工 程 表

令和 7 年 9 月 4 日 から 令和 7 年 11 月 28 日